# 運動記録管理×SNS 『ExercisePlus』

# 開発背景

日本の成人は約3人に1人が運動不足(私も運動不足です…) →心身の健康のためにも運動習慣を身につける必要がある アプリで記録することもできるけど1人でやると長続きしない…



日々の運動の記録を可視化させる 他のユーザーの記録も見れる 運動の有益な情報を入手できる

# 開発背景

# 日々の運動を記録することで運動習慣の定着をサポートする 運動記録管理×SNS 『ExercisePlus』

**ExercisePlus** 

投稿一覧 情報共有 ブックマーク

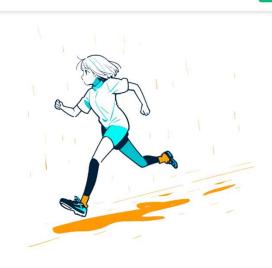
ログイン

### 運動記録管理×SNS

運動を楽しく続けよう!!

日々の運動を可視化して、自分の運動習慣を記録できます 同じ志を持った仲間たちと切磋琢磨して運動を続けよう! あなたの知らない有益な運動の情報を知れるかも…!?

始める(新規登録)



# サービス設計

### 1.日々の運動の記録を可視化させる

GitHubの草のように

自分の頑張りを分かりやすく可視化させたい

## <u>2.他のユーザーの記録も見れる</u>

自分だけでなく他のユーザーの頑張りも観測したい

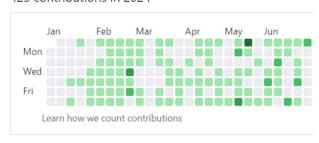
→切磋琢磨することで運動習慣の定着を計る

## 3.運動の有益な情報を入手できる

自分の運動やトレーニング方法が間違っているかも…?

→ユーザー同士が情報共有することで自分に合ったトレーニングを

#### 423 contributions in 2024



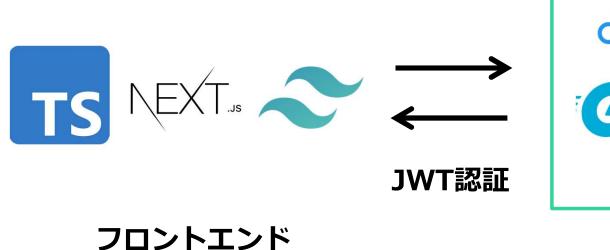
# 実装機能

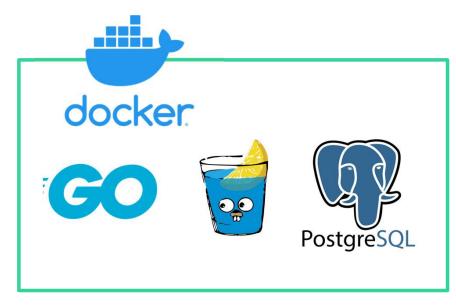
- 〇ユーザー認証機能
- ○運動記録投稿機能
- ○情報共有投稿機能
- 〇ブックマーク機能
- ○投稿タイムライン
- ○マイページで自分の記録を管理 (棒グラフ、カレンダー、運動記録)





# 技術構成





バックエンド

# デモ動画



# 二夫点

ユーザーの記録を 棒グラフとカレンダーで可視化

カレンダーでは運動時間で **背景色の濃淡を変化** 

運動時間が多いほど 色が濃くなる



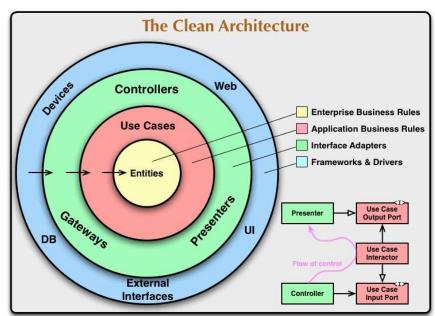
| Sun | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 26  | 27  | 28  | 29  |     | 31  |     |
| 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   |
| 9   | 10  | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  |
| 16  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 2   |
| 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  |
| 30  | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   |     |

# 工夫点

## クリーンアーキテクチャを採用

今後公開することを目指している

→疎結合・関心の分離



#### SPORTS\_BACKEND

- ∨ domain
- co posts.go
- relationships.go
- o users.go
- ∨ infrastructure
- ∨ db
- ⊸ db.go
- ∨ middleware
- middleware.go
- ∨ router
- router.go
- ∨ interfaces
- ∨ controller
- 🕶 bookmark.go
- get\_post.go
- mypage.go
- co post.go
- user\_controller.go

# 工夫点

- 〇各種ライブラリを活用したモダンなUI
- OBaaSに頼らない認証機能を実装
- OCookieでのユーザー情報の状態管理
- OトーストによるUXの向上
- ○情報共有の投稿をブックマークすることにより 投稿が増えても後から見返せる
- 〇今どのページを開いているかを分かりやすく
- 〇緑をイメージカラーとして視認性や心理的効果の向上

# まとめ

- ○環境構築に時間がかかり開発に時間が割けなかった…
- ○Go+Next.js(TypeScript)の開発体験が良かった
- 〇これまでにあまりなかったサービスを一から開発
- →サービス設計やDB設計を徹底的に考察し 課題を解決するには何が必要かを深堀することができた
- 〇アーキテクチャやコミットの粒度を意識して開発
- →バックエンドのコードは可読性が高くなったけど フロントエンドのコードは汚い…